

いっしょに読もう！新聞コンクール2024年 県独自表彰入賞者

大久保さん(常総学院高) 最優秀賞

新聞コンクール県内審査



家族や友人と新聞記事を読み、話し合った感想を応募する日本新聞協会主催「第15回いっしょに読もう！新聞コンクール」で、県NIE推進協議会(会長・藤井千春早稲田大教授)は17日、県内審査を通過した児童生徒20人を発表した。同推進協



賞状を受け取る大久保吾粹さん(土浦市中村西根)

が独自に授与する最優秀賞には、常総学院高2年の大久保吾粹さん(常総市)を選出した。大久保さんは6月3日付の読売新聞に掲載された『無縁遺体』3割増」の記事を読み、社会や家族の在

り方が多様化している現状に着目。友人の意見も聞き、「現状を打破するためには意思が必要。誰に自分の遺体を託したいか、どのように葬ってほしいかを遺言書などを通して意思を伝えることで、安心して生活を送れる」などと記した。大久保さんは「受賞はうれしい。学校以外で新聞を読む機会は少ないが、新聞は社会で何が起きているか、今を知ることができ。さらに自分の立場が分かり、未来のことを見えるようになる。とても大切なもの」と話した。本県でNIE(教育に新聞を)を推進する同推進協会は、新聞・通信各社、県教育委員会などで組織。2022年度のコンクールから、県内審査通過者全員を独自に表彰している。コンクールには、県内から1029点の応募があった。全国審査の結果は12月9日発表予定。(平野有紀)

は次の通り。(敬称略)
◇優秀賞 戸塚美晴(小美玉市立玉里義務教育学校4年) 齊賀朝陽(龍ヶ崎市立龍ヶ崎中2年) 森川怜美(常総学院中2年) 長江暹香(同) 武藤美瑠久(茨城キリスト教学園中2年) 茅根るな(同) 大里峻大(県立下妻二高2年) 森田美静(同) 飯野優里亜(同) 稲葉里奈(同) 寺門麻海(同) 飯島悠菜(県立取手二高2年) 高橋都暖(常総学院高1年) 内藤舞莉(同) 2年) 京合彩乃(同) 3年) 佐久間明日理(同) 石塚萌檜(同) 永嶋理沙(岩瀬日大高1年) 池田鐘太(県立協和特別支援学校高等部1年)

2024年10月18日付茨城新聞